

探究する楽しさを

存分に味わう



令和8年(2026年)度 信州大学教育学部 附属松本小学校 グランドデザイン

【学校教育目標】

活気ある子ども

集中する子ども

仲のよい子ども

具現を図るための8要素

＜①子どもと創るカリキュラム＞

～中核活動をマネジメントする～

- ・この学級ならではのカリキュラム
- ・半歩先を行く教師のカリマネ
- ・教科横断的な視点の重視
- ・FMS 祭を通じた活動の新たな課題

＜③教育課程特例校＞

～遊び→領域→教科～

- ・遊びから緩やかな教科への統合を意図した「領域」の設置
- ・子どもの「思いや願い、問い」を出発点に

＜④探究のサイクル構築＞

～繰り返し対象に関わる～

- ・対象を取り巻く「もの・ひと・こと」との出会い
- ・「課題把握→情報収集→整理分析→まとめ表現」を意識した単元デザイン

＜②附属松本小応援団＞

～世の中とのつながり～

- ・保護者ボランティア募集
- ・その道の達人との出会い
- ・大学、地域の各種団体との連携

何を学ぶか

【学校経営の重点】

探究する楽しさを

存分に味わう

授業づくり

何ができるようになるか

どのように学ぶか

＜⑤日々の授業の充実＞

～教師の指導力向上～

- ・探究に耐え得る学習問題の設定
- ・次時につながる振り返り
- ・多様性を包み込む学級づくり

＜⑥育成を目指す資質・能力＞

～個の追究を保証し「協働」の取組を進める中で～

- ・対象を面白がり働きかけていく力
- ・未知の状況でも働く思考力判断力表現力
- ・自らの学びを振り返り調整する力

＜⑦働き方改革＞

～目的は授業の質の向上～

- ・業務の精選、効率化
- ・ICT活用による情報共有
- ・風通しよく語らう職場創り

＜⑧附属松本小学校園の強み＞

～幼小中一貫型教育校～

- ・教師の校種を超えた授業参観・保育参加、乗り入れ授業による「観」の更新
- ・行事、学習活動における園児・児童・生徒の相互交流

【発揮される見方・考え方】（子どもに内在するよさ）

「自己表現力」（自分らしい表現）

「課題探究力」（こだわりの追究）

「社会参画力」（多様な他者との協働）

附属松本小学校園 12年間で育む子どもの姿